

小中学校  
93教室!

# 「特別教室の改修」 実現へ

日本共産党  
JCP BUNKYO  
文京区議団

普通教室の改修は完了しました  
次は、特別教室の改修を急いで!

1995年に起きた阪神大震災をきっかけに、党区議団は「学校調査」をスタート。その結果をもとに、区に耐震補強と耐震工事を提案。2007年に46棟の耐震工事が完了しました。以後、学校の「エアコン設置」や「トイレの洋式化」、「普通教室の改修」なども実現してきました。

2022年5月、党区議団は区内小中学校の特別教室を調査し、水道をひねると床下から水があふれる美術室や、昭和の仕様の家庭科室のガス台、ひび割れた床など、授業に支障が生じている現状をまとめて区に示し、早期改修を要求してきました。

区は、23年度から5年をかけて、16校93の特別教室の改修を行うことを決めました。23年12月から24年3月にかけて事業者を選定し、24年度中は設計を行います。そして、25年3月から26年度まで、各学校で集中的な改修工事が行われる予定です。

根津小から  
先行して  
スタート!



音楽室が  
明るくなって  
気持ちいい!



図書館の  
本をたくさん  
読むようになったよ!



小学校

今後5年以内に  
きれいになります!



「予算要望書」を提出しました

「学校調査」を続けてきました



10月25日、「2024年度文京区予算編成に関する要望書」を成澤区長に提出しました。学校施設等の教育環境を改善するための14項目も合わせて申し入れています。



党文京区議団では、コロナ禍において中断していましたが、毎年のように、区内の各小中学校、幼稚園等をまわって「学校調査」を行っており、各施設の教育環境をチェックしています。

地域経済  
振興のため  
設計・施工は  
「分離発注」に!

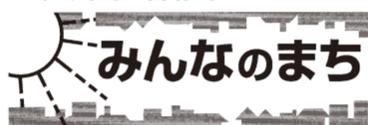
区は、特別教室の改修工事の発注に向け、「デザインビルト方式(全校の設計・施工を一括で発注)」も想定したサウンディング調査を行っていました。設計部門を持たない建設業者は排除されかねないため、党区議団は6月議会において、地域経済振興のためにも、設計と施工を分離して発注するよう求めました。その結果、従来方式の「分離発注」を行うことが決まり、設計は4校(約25教室)を1グループとしてそれぞれ事業者を、施工は年度ごとに学校単位で選定していくことになりました。

中学校



理=理科室 音=音楽室 図工=図工室 家=家庭科室 図書=図書室 美=美術室 技=技術室 調=調理室 被=被服室 木工=木工室 金工=金工室 ※準備室がある場合も1室として計上

日本共産党  
文京区議団ニュース



第120号 2023年 冬号  
☎5803-1317 FAX 3811-3197

区政へのご意見・  
ご要望を  
お寄せください



いたくら美千代  
区議会議員



金子てるよし  
区議会議員



関川けさ子  
区議会議員



小林れい子  
区議会議員



千田えみ子  
区議会議員



石沢のりゆき  
区議会議員

STOP  
GENOCIDE



日本共産党

# シビックより 区民施設の改修を!

シビックセンターにかけられる税金は  
年平均約**50億円**にも!

一方、子どもの施設を中心に  
**78か所**が築**50年以上**の老朽化

今後 (2023年～2027年)  
**100億円**の  
改修費が  
かかる見込み

シビックセンターに  
かかった税金は…

改修費

**133**億円

(2012年～2022年まで)

維持費

**376**億円

(1995年～2022年まで)

建設費

**850**億円

**35**億円  
借入利子

竣工以来

**1390**億円を投入

シビック改修が優先される一方、築50年以上の区民施設は78施設にのぼり、そのうち小中学校、幼稚園、保育園、児童館などの子どもの施設が約6割を占めています。78施設中、全面改修の予定がない施設は37か所にもなります。

ちなみに、シビックセンターより築年数が古い区民施設は195施設あり、そのうち区民センターなど76施設については全面的な改修工事を実施しており、15施設に改修予定があります。残りの104施設についても、早く進めるよう要望しています。

築50年以上の  
区民施設



## 区民施設は置き去りに!

使用中止に



本駒込図書館のバリアフリートイレは  
**5年間**使えないまま放置

本駒込図書館のバリアフリートイレは、設備の故障で2019年から使用できない状況が続いており、5年間も放置されていたことが、決算審査特別委員会で明らかになりました。他にも図書館の天井には雨漏りのシミがたくさんあり、故障したままの蛍光灯もあります。併設される勤労福祉会館では給湯器が旧式で、使用のたびに職員を呼ばなければなりません。体育館にはエアコンもないため、ただちに対応するよう要求しています。

公園・公衆トイレ  
22か所も未整備のまま…

区内には、公園・公衆トイレが71か所あり、便器の洋式化やバリアフリー対応等が必要な53か所のトイレを対象に、当初東京オリンピックが予定された2020年までの計画で「公衆・公園等トイレの整備事業」が進められていました。ところが、いまだ22か所が未整備のままです。早期に整備計画をつくりなおし、改修する必要があります。



決算委員: 左から関川区議、石沢区議、小林区議

2022年度の  
決算は  
「不認定」に!

2022年度の決算は、コロナ感染拡大と物価高騰の中でも、区民の皆さんからの税金(特別区民税)は過去最大の374億円、都から分配される特別区交付金も277億円となり、区の基金は636億円にもなりました。物価高騰はこれからも続きます。636億円は地域経

済の回復やコロナ対策等、区民の命、暮らしを守ることを最優先し、今後100億円以上かかるシビックセンターの改修は一旦凍結し、置き去りにになっている区民施設の改修や改築を急ぐことを主張。2022年度の決算を認定しませんでした。